

## 平成27年度 ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業(独自提案事業)【第1次募集】 採択事業整理案

## 【独自提案事業の採択の考え方】

1	森林整備後の管理体制が確保されていない時点で「荒廃した里山・平地林の整備」と同等以上の提案があった場合は、「管理体制の構築に努めることを条件」とし、各事業毎の補助上限額の1/2以内、同一地につき1回限りを条件に独自提案事業として認める。
2	市町村が制度化を図り予算確保した事業で、ぐんま緑の県民税の趣旨に合致するものについては、対象地等が特定されない段階でも独自提案事業として認める。ただし、交付決定は対象地等が特定されてから行うものとし、補助額は各事業毎の補助上限額以内とする。
3	「森林整備後の管理体制の確保」の条件に代わり得る「調査研究」については、効果の発現が速やかにかつ具体的に期待できるものについて認める。

## 【採択事業案】

番号	市町村名	事業名	事業内容	事業費(円)	事業費の内訳			審査会意見
					県補助金(円)	市町村負担金(円)	採・不	
1	高崎市	里山元気再生事業【継続】	野生鳥獣の隠れ場になっている竹林や里山林等の伐採・下刈を行い、緩衝帯を整備して、野生鳥獣被害の低減を図る。 20団体	6,000,000	3,000,000	3,000,000	上記理由2により採択	○荒廃した里山・平地林の整備と同内容の事業であり、整合性を図るため、県補助金額は前記事業の各事業毎の補助上限額を基準とし、実績は実行経費で積み上げること ○実施団体、箇所、面積を確定した後に補助金申請を行うこと
2	渋川市	竹林整備事業【継続】	放置竹林を間伐し、地域の安全・安心に資するほか、伐採竹の利活用についての調査研究を行う。 竹林整備面積：0.75ha	4,746,600	(2,373,000)	(2,373,600)	上記理由1により採択	○荒廃した里山・平地林の整備との整合性を図るため、放置竹林の間伐については「困難地整備事業／竹林」の上限2,700千円/haの補助率を基準とする ○既に市が複数年調査をしてきたことから、内容に新規性が認められないため、調査研究に係る費用については補助対象として認めない
3	神流町	竹林伐採作業	町が臨時雇用により作業班を組織し、人口減少と高齢化が進行し作業能力が弱い地域での荒廃した森林や竹林を整備し、安全・安心な暮らしの確保を図る。 竹林整備面積：2.00ha/年間	1,400,000	700,000	700,000	上記理由1により採択	○荒廃した里山・平地林の整備との整合性を図るため、放置竹林の整備については、「整備／竹林」の上限700千円/haの補助率を基準とし、実績は実行経費で積み上げること ○実施箇所を確定した時点で箇所別計画書を提出すること
4	甘楽町	甘楽中学校森林体験活動	平成28年度に開校する甘楽中学校周辺の荒廃した竹林を整備し、通学の安全確保を図るとともに、森林体験活動の場として、生徒・PTAによる管理を実施し森林環境教育に取り組む。 竹林整備面積：0.30ha	1,770,000	885,000	885,000	上記理由1により採択	○荒廃した里山・平地林の整備との整合性を図るため、放置竹林の整備については「困難地整備事業／竹林」の上限5,900千円/haの補助率を基準とし、実績は実行経費で積み上げること
5	邑楽町	大黒地区森林整備事業【継続】	平坦部でまとまった森林が存在するシンボリックな地区の森林整備 森林整備面積：1.40ha	700,000	350,000	350,000	上記理由1により採択	・荒廃した里山・平地林の整備と同内容の事業であり、整合性を図るため、県補助金額は前記事業の「困難地整備支援／森林」の上限500千円/haの補助率を基準とし、実績は実行経費で積み上げること
合計				14,616,600	5,947,500	8,669,100		